

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 保険薬局における手術患者の入院前服薬状況確認の有用性

研究の目的

弘前大学医学部附属病院では、周術期の服薬管理に関する研究を実施しています。手術前後の適切な休薬管理を確実に行うことで、患者さんの安全を向上させることを目的としています。本研究では、手術予定の患者さんの服薬状況を事前に確認し、病院と保険薬局が連携して適切な休薬管理を行う体制の有用性を評価します。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日

対象となる方： 対象者

2024 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日に整形外科で手術を受けた患者さん

利用させていただきたい試料・情報について

本研究における対象者への影響

この研究では、通常の診療で得られた情報のみを収集します。そのため、新たに試料を採取したり、対象者に侵襲を加えたりすることはありません。

本研究は、弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認を得て、オプトアウト方式で実施いたします。オプトアウト文書は、弘前大学医学部附属病院の公式ホームページにて公開しております。研究への参加を希望されない場合は、文書記載の連絡先までご連絡ください。

手術予定患者の服薬現状調査について収集する情報

・医療情報システム（電子カルテ）より収集する情報

手術予定日、手術日、患者 ID、性別、持参薬鑑別書（薬剤名）カルテ内容、看護記録

・カルテ内容依頼書より収集する情報

患者 ID、依頼日、休薬薬剤名、休薬開始日

・報告書より収集する情報

患者 ID、報告日、受診中の医療機関、診療科等に関する情報、現在服用中の薬剤情報（医薬品名、備考欄（休薬検討有無など）、報告した保険薬局名の所在地

・インシデント報告システムより収集する情報

報告部署名、内相（要約）、発生日、患者番号、詳細内容

データの解析方法、利用方法

- ・手術予定患者さんの服薬状況の把握
- ・休薬が適切に実施された割合の評価
- ・休薬が適切に実施されたことによる手術の遂行率の評価

これらの解析を通して、病院と保険薬局が連携して適切な休薬管理を行う体制の有用性を評価します。

これらの解析を通じて、病院スタッフの負担軽減や安全対策の効果を検証します。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん / その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

収集された情報は、個人が特定できないよう匿名化され、研究目的以外には使用しません。研究成果は学会発表や論文投稿などの形で公表されますが、その内容から対象者個人が特定されることはありません。

また、本研究では個別の患者さんに還元できる臨床的意義のある結果は得られないため、原則として個別の結果についてはお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合、該当する患者さんの試料・情報は研究対象から除外します。ただし、連絡をいただいた時点で既に研究成果が公表されている場合は、該当者のデータのみを削除する対応はできかねますので、あらかじめご了承ください。

本件連絡先	薬剤部 照井 一史 連絡先：0712-233-5111（内線 6745） メールアドレス： terui123@hirosaki-u.ac.jp
-------	--